

第21回大学教育研究フォーラム

◆日 程 2015年3月13日(金)～14日(土)

◆会 場 京都大学 吉田キャンパス

【個人研究口頭発表 / ポスター発表・参加者企画セッション】 総合館北棟(吉田南構内)

【小講演】 総合館北棟(吉田南構内)

【MOSTフェロー発表会・シンポジウム(基調講演 / パネルディスカッション)】

百周年時計台記念館・1F百周年記念ホール(本部構内)

【情報交換会】 百周年時計台記念館・2F国際交流ホール(本部構内)

3月13日(金)

受 付 8:15～12:30 ……………【総合館北棟・共北12】
12:30～ ……………【百周年時計台記念館・1F百周年記念ホール】

個人研究口頭発表 9:00～11:00 ……………【総合館北棟】

9:00～9:20 個人発表① *1人あたりの時間20分

9:20～9:40 個人発表② (発表時間15分+質疑応答3分+2分交代)

9:40～10:00 個人発表③

10:00～10:20 個人発表④

10:20～10:40 個人発表⑤

10:40～11:00 個人発表⑥

【お知らせ】

・今年から個人研究発表は、「口頭発表」「ポスター発表」の2形式になります。

・1部会における口頭発表数は④から⑥へと変更しています。これにともない、最後の全体討論は廃止としました。

個人研究ポスター発表 9:00～11:00 *在席義務時間 9:00～10:00
……………【総合館北棟】

小 講 演 11:25～12:25 ……………【総合館北棟】

MOSTフェロー発表会 13:25～14:25
……………【百周年時計台記念館・1F百周年記念ホール】

【お知らせ】

・「MOSTフェロー発表会」は新規セッションです。

シンポジウム 14:40～18:25 ……【百周年時計台記念館・1F百周年記念ホール】

挨 拶 14:40～14:50

基 調 講 演 14:50～15:50

パネルディスカッション 15:55～18:25

情報交換会 18:45～20:40 ……【百周年時計台記念館・2F国際交流ホール】

3月14日(土)

受 付 8:30~13:30 【総合館北棟・共北12】

個人研究口頭発表 9:00~11:00 【総合館北棟】

9:00~ 9:20 個人発表① *1人あたりの時間20分

9:20~ 9:40 個人発表② (発表時間15分+質疑応答3分+2分交代)

9:40~10:00 個人発表③

10:00~10:20 個人発表④

10:20~10:40 個人発表⑤

10:40~11:00 個人発表⑥

【お知らせ】

・1部会における口頭発表数は④から⑥へと変更しています。
これにともない、最後の全体討論は廃止としました。

小 講 演 11:25~12:25 【総合館北棟】

参加者企画セッション 13:30~16:00 【総合館北棟】

部会1 【会場：総合館北棟 共北25】

- 機関調査(IR)に関する一考察 p.36
 本西孝收(神戸学院大学)
- ゴミ箱モデルを援用したIRの意思決定支援機能に関する研究 p.38
 小川 勤(山口大学)
- 福井県大学間連携事業(Fレックス)における教学IRの取り組み
 ー継続的な学生意識調査の実施と分析ー p.40
 徳野淳子(福井県立大学)・田中洋一(仁愛女子短期大学)・山川 修(福井県立大学)
- 内部質保証のために学修時間の質・量を向上させる仕組み
 ーデータに基づく検証システム(IR)と組織的な改善活動ー p.42
 橋本智也(京都光華女子大学)
- 日本における大学効果研究の試みー医学系大学を例としてー p.44
 孫 媛(国立情報学研究所)・登藤直弥(国立情報学研究所)
 井上俊哉(東京家政大学)

部会2 【会場：総合館北棟 共北26】

- 大学における「パーソナル・ライティング」の教育的意義
 ー基礎教養としての〈私〉、それをはぐくむエッセーという考え方ー p.46
 谷 美奈(帝塚山大学)
- 3年間を通じた文章表現科目のモデレーションについて p.48
 成瀬尚志(京都光華女子大学短期大学部)・安江枝里子(長崎外国語大学)
 坂本彩希絵(長崎外国語大学)
- ライティング・サポート・デスクの理念と実践ー立命館大学の事例報告ー p.50
 野村 優(立命館大学)・中島 梓(立命館大学)・鹿島萌子(立命館大学)
- 主体的な学びを促すアカデミック・ライティングの段階的指導法の開発 p.52
 中東雅樹(新潟大学)・津田純子(新潟大学)
- アカデミック・アドバイジングによる修学支援と質保証ー資格取得コースの課題ー p.54
 中村章二(愛知教育大学)

部会3 【会場：総合館北棟 共北37】

- アクティブ・ラーニングに必要な学修環境
 ーラーニング commons の活用とファシリテータによる学修支援ー p.56
 西浦昭雄(創価大学)・池ヶ谷浩二郎(創価大学)
- 利用実態からみるラーニング・commonsの学びの行為 p.58
 鈴木夕佳(同志社大学)・岡部晋典(同志社大学)・浜島幸司(同志社大学)
- 大学教育におけるコラボレーションの創出ー正課授業×学習支援センター×図書館ー p.60
 橋本信子(大阪商業大学)

教師教育者を目指す大学院生に必要な授業実践の模索	p.62
久恒拓也(広島大学)	
静岡大学教員免許更新講習必修領域の効果に関する研究	
ー受講者が講習に対して感じた意義についてー	p.64
望月耕太(静岡大学)	
教職志望学生の正課外活動を通じた学びー教員の資質能力の成長に着目してー	p.66
横山 香(兵庫教育大学)・村上明生(兵庫教育大学)・赤松幸子(兵庫教育大学)	
森田哲之(兵庫教育大学)	

部会 4 【会場：総合館北棟 共北38】

「学生FD」の意義と可能性	p.68
木野 茂(立命館大学)	
学生FD活動の拡大を促進・強化している要因についてのー考察	
ーモチベーション論の視点を用いてー	p.70
村山孝道(京都文教大学)	
学生参加型FD・教育改善をめぐる論点と課題	p.72
服部憲児(京都大学)	
大規模私立大学におけるFD活動への学生参画システムの構築	
ー東洋大学における事例報告ー	p.74
曾根健吾(東洋大学)・千明 誠(東洋大学)	
「学生による授業コンサルティング(SCOT)」プログラムがもたらしたもの	
ー教員、FDセンターに焦点をあててー	p.76
井上史子(帝京大学)・森 玲奈(帝京大学)	
「学生による授業コンサルティング」において大学生は何を学んでいるのか	p.78
森 玲奈(帝京大学)・井上史子(帝京大学)	

部会 5 【会場：総合館北棟 共北28】

大学における休・退学防止の検討ー学内組織連携型の学生支援策に注目してー	p.80
岩崎保道(高知大学)	
数理におけるクリティカルシンキングの意識及び志向性の評価・分析	p.82
谷口進一(金沢工業大学)・西 誠(金沢工業大学)・山岡英孝(金沢工業大学)	
教職課程担当教員としての意識形成プロセスに関する質的研究	p.84
境 愛一郎(広島大学)・相馬宗胤(広島大学)	
通信制大学における集中型対面授業が協同作業認識に与える効果について	p.86
秋光淳生(放送大学)	
女子大学生の金融リテラシーと金融教育	p.88
水野英雄(椋山女学園大学)・中野友貴(椋山女学園大学)	
平賀夕稀(椋山女学園大学)	

部会6 【会場：総合館北棟 共北31】

- ロールレタリングを用いたキャリア教育の試み p.90
 佐瀬竜一 (常葉大学)
- 教員アドバイザーを支援する学習支援 p.92
 山崎めぐみ (創価大学)
- 学生のニーズに応じた教職協働による学習支援の展開 p.94
 今川新悟 (立命館大学)・蔵城一樹 (立命館大学)・土岐智賀子 (立命館大学)
- 「学生の力」を活用した正課外学習支援活動の可能性
 ー学生アドバイザー (SLA) の成長に焦点を当ててー p.96
 足立佳菜 (東北大学)・鈴木 学 (東北大学)
- 学生・教員・図書館職員の協働による学修支援の取り組み p.98
 亀岡由佳 (徳島大学)・佐々木奈三江 (徳島大学)・岩野宏治 (徳島大学)
 吉田 博 (徳島大学)
- 教員養成改革の方向性とその課題ー他専門職養成課程との比較を通してー p.100
 中居舞子 (広島大学)・張 磊 (広島大学)・安喰勇平 (広島大学)

部会7 【会場：総合館北棟 共北32】

- 芝浦工業大学における新任教員研修プログラム p.102
 榊原暢久 (芝浦工業大学)・ホートン広瀬恵美子 (芝浦工業大学)
- 持続可能な教育支援システムの運用と新規採用教員研修 p.104
 江本理恵 (岩手大学)
- SPODにおいて標準化された新任教員研修の成果と課題 p.106
 吉田 博 (徳島大学)・宮田政徳 (徳島大学)・上岡麻衣子 (徳島大学)
 山田剛史 (愛媛大学)
- 外国人留学生科目「自律学習」におけるメタ認知のつまづきを探る p.108
 小林ひとみ (神田外語大学)
- 大学改革に資する技術系職員のキャリア形成について p.110
 安原裕子 (静岡大学)・佐藤龍子 (静岡大学)・遠山紗矢香 (静岡大学)
- 折り合いの3年 Three-Year-Compromise の実現に向けて
 ー雇用側がさせない、被雇用側が報告する、就職3年残業ー p.112
 菅野憲司 (千葉大学)

個人研究ポスター発表 9:00~11:00 *在席義務時間9:00-10:00

総合館北棟2F 東側ラウンジ

- 1** 実践と思考の熟達化過程—理学療法版「考える OSCE-R」での学生の臨床推論の可視化— p.114
平山朋子(藍野大学)・松下佳代(京都大学)・西村 敦(藍野大学)
新保健次(藍野大学)・杉本明文(藍野大学)・何川 渉(藍野大学)
- 2** 問題解決能力育成を目指した PBL 形式カリキュラム「薬物治療学」の実践と PBL 支援システムの開発—6年間の実績と学習効果— p.116
大津史子(名城大学)・永松 正(名城大学)・灘井雅行(名城大学)
後藤伸之(名城大学)・長谷川洋一(名城大学)
- 3** アクティブラーニング型授業における学生の自己評価支援 p.118
森 裕生(早稲田大学)・江木啓訓(神戸大学)・尾澤重知(早稲田大学)
- 4** ゼミナールの授業外での活動に関する探索的研究 p.120
伏木田稚子(東京大学)
- 5** 地域産業界と連携した PBL 型演習の実践報告—受講者間での相互評価を中心とした分析— p.122
酒井徹也(静岡大学)・須藤 智(静岡大学)・坂井敬子(静岡大学)
永山ルツ子(静岡英和学院大学)・野瀬元子(静岡英和学院大学)
日比優子(静岡英和学院大学)
- 6** 当日ブリーフレポート方式(BRD)の講義における口頭発表 p.124
宇田 光(南山大学)
- 7** 教員養成課程におけるアクティブ・ラーニング型授業デザインの検討 p.126
沼上朋恵(上越教育大学)
- 8** 教学 IR において正課教育と課外活動とをどのようにつなぐか?
—正課と課外の関連性に関する学生の認識に着目して— p.128
川那部隆司(立命館大学)・河井 亨(立命館大学)・鳥居朋子(立命館大学)
辰野 有(立命館大学)・今川新悟(立命館大学)
- 9** 教育プログラムの質保証を支援する教学データベースシステムの構築 p.130
五島譲司(新潟大学)・澤邊 潤(新潟大学)・並川 努(新潟大学)
濱口 哲(新潟大学)・鳴海敬倫(新潟大学)
- 10** 雄飛館ラーニングcommonsでの学生スタッフ活動による学生の成長と全学的学習活動への波及効果 p.132
松井きょう子(京都産業大学)・千葉美保子(京都産業大学)
雄飛館ラーニングcommons学生スタッフ(京都産業大学)
- 11** ラーニングcommonsにおける学習支援の取り組みとその評価—ラーニング Café を事例に— p.134
佐々木知彦(関西大学)・齊尾恭子(島根大学)・岩崎千晶(関西大学)
- 12** ラーニングcommonsにおける学習環境をデザインする p.136
市村賢士郎(京都大学)・伊川美保(京都大学)・河村悠太(京都大学)
Arseny Tolmachev(京都大学)・長見祐暉(京都大学)・高橋雄介(京都大学)
楠見 孝(京都大学)
- 13** Web-based FD の検討—これまでの実践を補助線に— p.138
米谷 淳(神戸大学)
- 14** 大学教員の FD に関する意識と取り組みの在り方の分析・可視化 p.140
平 知宏(大阪市立大学)・飯吉弘子(大阪市立大学)

- 15** 大学教員の授業リフレクションを促進する概念マップの活用 ————— p.142
茅島路子(玉川大学)・宇井美代子(玉川大学)・前田啓輔(広島大学)
林 雄介(広島大学)・平嶋 宗(広島大学)
- 16** 大学教員の意識と実践にみる思考力育成とその教授法の考察
—批判的に思考する力と態度の教育検討のために— ————— p.144
飯吉弘子(大阪市立大学)・平 知宏(大阪市立大学)
- 17** 授業評価に適した記述型回答法の提案 ————— p.146
小島隆次(滋賀医科大学)・藤岡俊平(滋賀医科大学)
- 18** 大学共創と授業アンケート ————— p.148
神谷 諒(京都産業大学)・田村玖美(京都産業大学)・徳田義貴(京都産業大学)
福島寛史(京都産業大学)・竹谷美里(京都産業大学)・飯田実乃里(京都産業大学)
林 美希(京都産業大学)・森脇可奈子(京都産業大学)
- 19** 学修支援者としての事務職員育成プログラムの開発 ————— p.150
竹中喜一(関西大学)・岩崎千晶(関西大学)・杉本仁嗣(関西大学)
森 朋子(関西大学)
- 20** ユビキタス映像記録視聴システムを活用した授業研究の試み(IV) ————— p.152
平山 勉(名城大学)・後藤明史(名古屋大学)・竹内英人(名城大学)
- 21** ペア学習における学生間の温度差について(1) ————— p.154
森田慶子(大分県立看護科学大学)・吉村匠平(大分県立看護科学大学)
- 22** ペア学習における学生間の温度差について(2) ————— p.156
吉村匠平(大分県立看護科学大学)・森田慶子(大分県立看護科学大学)
- 23** レポート課題における課題構造と問題解決手段との連関 ————— p.158
福田 健(清泉女子大学)
- 24** 「ことば」をめぐる学際型教養科目の試み ————— p.160
小町将之(静岡大学)・田村敏広(静岡大学)・堀内裕晃(静岡大学)
Corbeil, Steve(静岡大学)
- 25** 学生の社会とつながる態度の涵養を目指した技術習得系科目の授業デザインの検討
—経済学部の情報処理科目を対象に— ————— p.162
奥田麻衣(神奈川大学)
- 26** 保健医療福祉学部の初年次科目「スタートアップ・セミナー」の取り組みについて ————— p.164
石原正三(埼玉県立大学)
- 27** Webサービスのログ解析による利用状況の把握と学生支援 ————— p.166
有田亜紀子(清泉女子大学)・白石哲也(清泉女子大学)
- 28** 学生寮におけるピアサポーターの成長に関する一考察
—お茶大 SCC のレジデント・アシスタントを事例として— ————— p.168
北澤泰子(お茶の水女子大学)・望月由起(お茶の水女子大学)
霜鳥美和(お茶の水女子大学)
- 29** 理工系人材育成におけるグローバルコンピテンシー獲得の可視化に関する考察 ————— p.170
宮浦 崇(九州工業大学)・林 朗弘(九州工業大学)・水井万里子(九州工業大学)
西野和典(九州工業大学)
- 30** キャリア教育と学生のキャリア Re デザイン—学生の転部や編入に着目して— ————— p.172
白井章詞(九州産業大学)

- 31** 理学療法士を目指す大学生を対象としたVPI職業興味検査のクラスター分析による10年間の傾向について ————— **p.174**
内田賢一(神奈川県立保健福祉大学)・高木峰子(神奈川県立保健福祉大学)
鈴木智高(神奈川県立保健福祉大学)・小池友佳子(神奈川県立保健福祉大学)
黒澤千尋(神奈川県立保健福祉大学)・濱野敏明(藤沢市民病院)
- 32** 接続教育としての「探究活動」への博物館アプローチ ————— **p.176**
—京都大学総合博物館特別展「学びの海への船出」をもとに—
蒲生諒太(京都大学)・大野照文(京都大学)
- 33** インターンシップの質的向上に向けて必要な専門人材とは ————— **p.178**
後藤綾文(三重大学)
- 34** 学生ステークホルダーの育成のためのゲーミフィケーション ————— **p.180**
辻 高明(秋田大学)
- 35** 公立大学の拡大過程における学部学科構成の変化とその特徴 ————— **p.182**
山本裕子(早稲田大学)

一橋大学大学院におけるアカデミック・キャリア支援の取り組み
ー併走する「若手研究者」の視点からー …………… 【会場：総合館北棟 共北31】

p.27

青木 深 (一橋大学学生支援センター 特任講師)

【司会】田口 真奈 (京都大学高等教育研究開発推進センター 准教授)

パフォーマンス評価とルーブリックの基礎と最前線 …………… 【会場：総合館北棟 共北32】

p.28

石井 英真 (京都大学大学院教育学研究科 准教授)

【司会】松下 佳代 (京都大学高等教育研究開発推進センター 教授)

研究倫理と研究公正ーその現状と大学教育ー …………… 【会場：総合館北棟 共北37】

p.29

水谷 雅彦 (京都大学文学研究科 教授 / 附属応用哲学・倫理学教育研究センター長)

【司会】飯吉 透 (京都大学高等教育研究開発推進センター 教授 / センター長)

論理的思考を養うアカデミック・ライティングのあり方 …………… 【会場：総合館北棟 共北38】

p.30

近田 政博 (神戸大学大学教育推進機構 教授)

【司会】酒井 博之 (京都大学高等教育研究開発推進センター 准教授)

MOSTフェロー発表会「FD笑百科 — MOSTフェロー流授業改善術 —」

13:25~14:25

百周年時計台記念館・1F百周年記念ホール

趣 旨

京都大学高等教育研究開発推進センターでは、特徴ある授業実践をおこなっている全国の大学教員が参加するMOSTフェローシッププログラムを、2012年より実施してきました。MOSTフェローは、対面やオンラインで交流しながら、1年間かけてそれぞれの授業改善に取り組み、授業実践の中で直面する様々な教育的課題を相互の実践知から解決する大学教員の情報共有コミュニティを目指して活動しています。今回の大学教育研究フォーラムでは、初の試みとして、歴代MOSTフェローの先生がたが中心となり企画する授業改善のセッションが設けられました。第1回となる今回は、「アクティブラーニングを導入してみたがどうもうまくいかない」という大学教員の悩みに対し、MOSTフェローそれぞれの実践事例を用いながらアドバイスを加えるというシナリオを通じて、フェローシッププログラムを通じて取り組んだ教育改善活動の一端を、ユーモアを交えて楽しく紹介します。

- 報告者 村井 淳志（金沢大学 学校教育学類 教授）
勝又 あずさ（成城大学 共通教育研究センター 特別任用准教授）
村上 裕美（関西外国語大学短期大学部 准教授）
- 司 会 木村 修平（立命館大学 生命科学部 准教授）
- 特別協力 村上 正行（京都外国語大学 マルチメディア教育研究センター 准教授）

シンポジウム「大学教育の国際化×正課正課外における主体的な学び」

14:40~18:25

百周年時計台記念館・1F百周年記念ホール

挨拶 14:40~14:50

山極 壽一(京都大学総長)

基調講演 14:50~15:50

佐藤 邦明(文部科学省 高等教育局 高等教育企画課 国際企画専門官)

「グローバル時代における大学教育の国際化を考えるー政策的見地を踏まえてー」

p.23

パネルディスカッション 15:55~18:25

p.24~26

報告

報告1 芦沢 真五(東洋大学 国際地域学部 教授)

「現代社会における留学の意義とインパクトを再考する

ー多様化する海外学習体験と学習成果分析ー」

p.24

報告2 落合 一泰(一橋大学 大学院社会学研究科 教授)

「教育の国際化と学生の国際化ーチューニングと学外学修の試みー」

p.25

報告3 飯吉 透(京都大学 高等教育研究開発推進センター 教授/センター長)

「主体的な学びの喚起と持続のためのオープンな学習環境を考える

ー21世紀のジョン万次郎をどう育てるかー」

p.26

指定討論

佐藤 邦明(文部科学省 高等教育局 高等教育企画課 国際企画専門官)

ディスカッション

司会 田口 真奈(京都大学 高等教育研究開発推進センター 准教授)

松下 佳代(京都大学 高等教育研究開発推進センター 教授)

趣旨

昨今、大学教育改革に対する社会からの期待は、ますます大きくなってきています。高等教育も含めた様々な分野において、グローバルとローカルのバランスを取る複雑さと困難さが増しており、それに伴い、日本の多くの大学も「教育の国際化対応」や「世界的に活躍できる人材の育成」に喫緊の課題として取り組み始めています。

一方で、海外留学する学生が減少し、「若者の内向き化」が指摘されています。しかし、教育の国際化をめざす正課の授業や正課外の活動は、学生の主体的な学びを促す機会にもなりうる可能性をもっています。

本シンポジウムでは、地方行政・国政の両方の立場から日本の大学教育の国際化を先導されてきた文部科学省の佐藤邦明国際企画専門官に、基調講演をお願いしました。グローバル化に対応する日本ならびに世界の政策動向をご紹介いただくとともに、国際教養大学の立ち上げ、G30、SGUなどの立案に関わられたご経験をふまえて、大学教育の国際化への期待をこめたとご講演をいただきます。

続くパネルディスカッションでは、まず、正課外での取組の優れた事例として、海外学習体験を牽引してこられた東洋大学の芦沢真五教授に、留学の意義やインパクトをデータに基づいてご紹介いただきます。次いで、グローバル化に対応したカリキュラム改革をどのように行っていくのか、正課の授業と正課外の活動をどのようにつないでいくのかといった点から、一橋大学の落合一泰教授より、チューニングをはじめとする一橋大学の取組についてお話しいたします。

最後に、学びの場がますます多様化し、教育のオープン化が進む現状を踏まえ、学生の主体的な学びを喚起する学習環境とはどのようなものなのかについて、ICTがもたらす現在の学習環境に詳しい本センターの飯吉センター長が提案を行います。

「国際化」という観点から、日本の大学教育改革における重点的な取組とその可能性や課題をあらためて広く捉え直しつつ、深く考える機会としたいと思います。

部会 8 【会場：総合館北棟 共北25】

- 反転学習の効果検証に関する実証的研究—大学生を対象として— p.184
 本田周二(島根大学)・森 朋子(関西大学)・溝上慎一(京都大学)
- 教養・文系科目における反転授業の実践—「大学で学ぶ世界史」のデザインと効果— p.186
 鹿住大助(島根大学)
- アクティブラーニングとしての反転授業の効果を検討する実証的研究 p.188
 矢野浩二郎(大阪工業大学)・森 朋子(関西大学)
- 大学人文科学系言語学講義への反転学習導入に関する考察 p.190
 七田麻美子(総合研究大学院大学)・本田周二(島根大学)・小林亜希子(島根大学)
 森 朋子(関西大学)
- 新生を対象とした英語科目における反転授業の導入とその分析結果について p.192
 奥田阿子(長崎大学)・三保紀裕(京都学園大学)・森 朋子(関西大学)
- 工学系演習授業における「反転授業」の試み p.194
 長谷川紀幸(横浜国立大学)

部会 9 【会場：総合館北棟 共北26】

- ルーブリックの意義と課題—ルーブリックの批判的検討をふまえて— p.196
 松下佳代(京都大学)・畑野 快(大阪府立大学)・斎藤有吾(京都大学)
 浅井健介(京都大学)・河合道雄(京都大学)・周 静(京都大学)・田中正之(京都大学)
 丁 愛美(京都大学)・Nikan Sadehvandi(京都大学)・蒲 雲菲(京都大学)
 星野俊樹(京都大学)・松井桃子(京都大学)・長沼祥太郎(京都大学)
- パフォーマンス評価における信頼性指標 p.198
 斎藤有吾(京都大学)
- キャリアデザインプログラムにおける「コンピテンシー評価指標」の開発事例 p.200
 霜島美和(お茶の水女子大学)・望月由起(お茶の水女子大学)
- PBLにおける実践評価と教育評価—立命館大学 OAK プロジェクトの試み— p.202
 山口洋典(立命館大学)・堀江未来(立命館大学)・桑名 恵(立命館大学)
 坂田謙司(立命館大学)・河井 亨(立命館大学)
- プロジェクト型学習の授業設計における評価法の検討 p.204
 上田勇仁(株式会社デジタルエデュケーショナルサポート)・合田美子(熊本大学)
- ルーブリックを通じた学生の学びに関する探索的検討 p.206
 山田嘉徳(関西大学)・森 朋子(関西大学)・岩崎千晶(関西大学)
 田中俊也(関西大学)

部会 10 【会場：総合館北棟 共北27】

- 2種類のPBLとリーダーシップ教育の実践 p.208
 長谷川元洋(金城学院大学)・時岡 新(金城学院大学)・中村岳穂(金城学院大学)
 岩崎公弥子(金城学院大学)・畠山正人(金城学院大学)・河野裕康(金城学院大学)

授業 SNS を用いた協調学習統合型講義の試み	p.210
田中浩朗 (東京電機大学)	
安寧の都市ユニットにおける対話に基づく講義とその評価に関する試み	p.212
安東直紀 (京都大学)・小山真紀 (京都大学)・土井 勉 (京都大学)	
アクティブラーニングに「声」のワークを導入する試み	
ー「主体性」「やる気」の学習効果の向上を目指してー	p.214
山岡三子 (名古屋短期大学)	
多文化多言語 PBL の成果と課題	p.216
梶本歩美 (国際教養大学)	
日本語コミュニケーション能力の養成に対するジグソー法の有効性	
ー中国の大学の「精読」科目における実践を通じてー	p.218
周 静 (京都大学)・松下佳代 (京都大学)	

部会 11 【会場：総合館北棟 共北32】

Content-Based Instruction と協調学習を組み合わせた、情報系学生向け英語教育の定量的評価	
矢野浩二郎 (大阪工業大学)	p.220
国際通用語としての英語における母音の音質と明瞭性の関係	p.222
ジョージ・オニール (新潟大学)	
外部試験を活用した教養英語カリキュラムの効果的運用	p.224
高瀬祐子 (静岡大学)・松野和子 (静岡大学)・小早川真由美 (文部科学省)	
小町将之 (静岡大学)	
英語教員のためのポートフォリオオーグローバル人材育成に向けてー	p.226
村上裕美 (関西外国語大学短期大学部)	
留学の事前指導と事後指導の一環としての英語による大学の授業	p.228
山川健一 (安田女子大学)・平本哲嗣 (安田女子大学)・松岡博信 (安田女子大学)	
三宅英文 (安田女子大学)	

部会 12 【会場：総合館北棟 共北37】

国家政策としての障害学生支援ー条約と法制定過程ー	p.230
青野 透 (金沢大学)	
生活と科学 演習 2010年度 教育実践報告ーF. ナイチンゲール著『看護覚え書』に基づいた「生活の体系像」を学生の頭脳に形成し、健康的生活を主体的に創り出すセルフケア能力を育成するー	
小河一敏 (宮崎県立看護大学)	p.232
ポジティブ心理学理論に基づくメンタルヘルス教育プログラムの紹介	p.234
須賀英道 (龍谷大学)	
インターネット上の共有ドライブを利用した学習記録の試み	
ー留学生を対象とした大学講義参加を支援する日本語授業からー	p.236
福島智子 (桜美林大学)・三宅若菜 (桜美林大学)	

部会 13 【会場：総合館北棟 共北38】

- 初年次教育におけるデジタル・ストーリーテリングを用いたキャリア教育実践 ————— p.238
坂本 旬 (法政大学)
- 大人数で取り組めるキャリア教育の授業を目指した実践報告(事例報告) ————— p.240
松坂暢浩(山形大学)・小倉泰憲(山形大学)・栗野武文(山形大学)
- 大学1年生の汎用的/専門的/実務的資質能力の個人差と変化
—科目「キャリアデザイン」におけるアクティブ・ラーニングの課題— ————— p.242
坂井敬子(静岡大学)・佐藤龍子(静岡大学)・酒井徹也(静岡大学)
須藤 智(静岡大学)
- キャリア教育プログラム初年度の省察と2年目以降の展望 ————— p.244
大黒章子(明海大学)・東 香織(明海大学)・市川雅也(株式会社インテリジェンス)
高橋南海子(明星大学)
- 大学生のキャリア探索を促進する友人との関わり方 ————— p.246
田中正之(京都大学)
- キャリア教育におけるアクティブラーニング実施時の着眼点と工夫 ————— p.248
平野恵子(文化放送キャリアパートナーズ)

部会 14 【会場：総合館北棟 共北3A】

- 大学の世界展開力強化事業「強靱な国づくりを担う国際人育成のための中核拠点」における
地域連携を取り入れたワークショップ型授業の試み ————— p.250
小山真紀(京都大学)・大友 有(京都大学)・四井早紀(京都大学)
樋口博紀(京都市東山区役所)・藤森崇浩(京都大学)・大道一步(京都大学)
清野純史(京都大学)
- 学外者を巻き込んだ授業パラダイムのイノベーション
—学びの境界を越える授業を事例にして— ————— p.252
筒井洋一(京都精華大学)・大木誠一(前神戸国際大学附属高校教員)
- 短大教育における地域企業との連携の可能性 ————— p.254
辰島裕美(金沢星稜大学女子短期大学部)
- 地域資源としての休耕地を活用したフィールド教育の実践 ————— p.256
石井雅章(神田外語大学)・古旗賢二(城西大学)・末永啓一郎(城西大学)
- 理系学生のための合宿型集中英語講義
—京都産業大学グローバル・サイエンス・コースにおける試み— ————— p.258
足立 薫(京都産業大学)・桜井延子(京都産業大学)・中村暢宏(京都産業大学)

部会 15 【会場：総合館北棟 共北28】

- 参加型・行動型アクティブラーニングの実践
—全学共通教育科目「地域情報発信論」を事例として— ————— p.260
馬本 勉(県立広島大学)・中瀬古 哲(県立広島大学)・塩川満久(県立広島大学)
五條小枝子(県立広島大学)

活動的で協同的で反省的な「読書コミュニティ」の創出 ー学生一人ひとりが想像の翼を広げる教養教育を目指してー	p.262
水野邦太郎(福岡県立大学)	
教養教育における参加型音楽ワークショップの展開(1)ーその効果と可能性ー	p.264
西田 治(長崎大学)	
学生の相互刺激を活用した主体的な学びを推進ー3つの共通教育科目における試みー	p.266
清水 亮(神戸学院大学)	
教員養成型PBL教育の課題と展望(XI)ー生活指導分野における対話型事例シナリオの開発ー	p.268
大日方真史(三重大学)・赤木和重(神戸大学)・大西宏明(三重大学)	
中西康雅(三重大学)・根津知佳子(三重大学)・前原裕樹(愛知大学)	
守山紗弥加(三重大学)・森脇健夫(三重大学)・山田康彦(三重大学)	
健康新聞を用いた省察力に関する実践報告	p.270
岡本浄実(京都文教大学)	

部会 16 【会場：総合館北棟 共北31】

総合的スキル獲得を目指したメディア創造ワークショップにおける学生の学び	p.272
稲葉利江子(津田塾大学)・長濱 澄(早稲田大学)	
学生の主体的な学びを支援する仕組みづくりに向けてー学生へのヒアリング調査からー	p.274
千葉美保子(京都産業大学)・松井きょう子(京都産業大学)	
プロジェクトマネジメントラーニングにおける効率化のデメリット	p.276
奥本素子(総合研究大学院大学)	
学年・学部混合チームでのPBL型インターンシップにおける学び	p.278
宇賀田栄次(静岡大学)・須藤 智(静岡大学)・坂井敬子(静岡大学)	
佐藤龍子(静岡大学)	
ワークショップの企画・実施を通じたコミュニケーション教育の実践	p.280
望月俊男(専修大学)・安斎勇樹(東京大学)・佐藤慶一(専修大学)	
山田小百合(特定非営利活動法人Collable)・森 裕生(早稲田大学)	
行動型アクティブラーニングの実践ー「体育実技(海洋実習)」を事例としてー	p.282
塩川満久(県立広島大学)・中瀬古 哲(県立広島大学)・楠掘誠司(県立広島大学)	

部会 17 【会場：総合館北棟 共北3B】

初年次教育のプロジェクト活動における「調べ学習」からの脱却(1)	
ー学生の立てる「問い」と「主張」の現状とその特徴ー	p.284
下村智子(三重大学)・守山紗弥加(三重大学)・益川優子(愛知学泉大学)	
大道一弘(早稲田大学)・中島 誠(三重大学)・中西良文(三重大学)	
長濱文与(三重大学)	
初年次教育のプロジェクト活動における「調べ学習」からの脱却(2)	
ー「主張」の構築をめざした指導上の工夫ー	p.286
守山紗弥加(三重大学)・下村智子(三重大学)・中島 誠(三重大学)	
長濱文与(三重大学)・中西良文(三重大学)	

保健医療学部における初年次学生に対する IPE (Interprofessional education) —————	p.288
富田美加 (茨城県立医療大学)・加納尚美 (茨城県立医療大学) 吉良淳子 (茨城県立医療大学)・滝澤恵美 (茨城県立医療大学) 齋藤さわ子 (茨城県立医療大学)・對間博之 (茨城県立医療大学) 庄司俊之 (茨城県立医療大学)・馬場 健 (茨城県立医療大学) 武島玲子 (茨城県立医療大学)・工藤典雄 (茨城県立医療大学)	
高大接続の課題を踏まえた初年次ライティング科目の指導法とその効果 — 論証とパラグラフ・ライティングを柱に —————	p.290
薄井道正 (立命館大学)	
発展的なライティング教育のための初期段階での課題—TA としての経験をふりかえって—	p.292
井上達郎 (立命館大学)・神谷大匡 (立命館大学)・熊木優歩 (立命館大学)	
ピア・サポーターの育成・マネジメント—初年次支援を行うピア・サポート組織の実践報告—	p.294
奥田修子 (立命館大学)・土岐智賀子 (立命館大学)	

部会 18 【会場：総合館北棟 共北3C】

学生授業評価結果から見た看護学部生の「学び」の実態 —————	p.296
杉田由仁 (山梨県立大学)・吉澤千登勢 (山梨県立大学)・村松照美 (山梨県立大学)	
イメージを描くことによる授業評価アンケート—学生は授業の目標物を絵に描くか—	p.298
岡田大輔 (明石工業高等専門学校)	
授業連携によるクラスルーブリック作成過程の事例 —————	p.300
毛利美穂 (関西大学)・西浦真喜子 (関西大学)・小林至道 (関西大学) 中澤 務 (関西大学)・森 朋子 (関西大学)	
日本人学生の海外学習体験を PAC 分析で可視化する —————	p.302
佐々木良造 (秋田大学)・尾沼玄也 (神田外語大学)	
大学資源の活用に向けたゲーミフィケーションの実践 —————	p.304
石田喜美 (常磐大学)・関 敦央 (常磐大学)・寺島哲平 (常磐大学)	

部会 19 【会場：総合館北棟 共北3D】

図画工作における ICT を活用した新たな活動「たからばこ作戦」の実践と小学校教員を目指す学生の 教職教育の可能性について —————	p.306
鳥原正敏 (都留文科大学)・杉本光司 (都留文科大学)・館山拓人 (都留文科大学) 大輪知穂 (都留文科大学)	
外部開発教材を活用した推薦入学生に対する入学前 e ラーニング教育の効果 —————	p.308
澤口 隆 (東洋大学)・巽 靖昭 (東洋大学)・児玉俊介 (東洋大学)	
経済学基礎教育における e ラーニングの学力差改善効果 —————	p.310
上村一樹 (東洋大学)・児玉俊介 (東洋大学)・澤口 隆 (東洋大学)	
文科系学部における数理的教育の構築 —————	p.312
森 園子 (拓殖大学)・船倉武夫 (千葉科学大学)	
数学 e-Learning における PDCA サイクルの多面化について —————	p.314
亀田真澄 (山口東京理科大学)・宇田川 暢 (山口県立大学)	

主体的な学びを実現・支援する方策としての学内ICT環境改善と授業改善 p.316

坂田信裕(獨協医科大学)・山下真幸(獨協医科大学)・上西秀和(獨協医科大学)

坂東宏和(獨協医科大学)

障がいや難病を生きる人達との哲学対話

ーICTを活用したアクティブラーニングー ……………【会場：総合館北棟 共北27】

_____ p.31

田坂 さつき (立正大学文学部哲学科 教授)

【司会】田中 一孝 (京都大学高等教育研究開発推進センター 特定助教)

高等教育質保証のインパクトーFDから学習成果, IRへー ……………【会場：総合館北棟 共北28】

_____ p.32

山田 剛史 (愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 副室長 / 准教授)

【司会】松下 佳代 (京都大学高等教育研究開発推進センター 教授)

大学入試改革の新動向と課題

ー日本の大学入試風土と高大接続答申の狭間でー ……………【会場：総合館北棟 共北31】

_____ p.33

大塚 雄作 (独立行政法人大学入試センター 試験・研究副統括官 教授)

【司会】飯吉 透 (京都大学高等教育研究開発推進センター 教授 / センター長)

オープンエデュケーションによる大学教育改善

ー反転授業を導入する道内国立大学教養教育連携の事例からー ……【会場：総合館北棟 共北32】

_____ p.34

重田 勝介 (北海道大学高等教育推進機構教育支援部オープンエデュケーションセンター 准教授)

【司会】酒井 博之 (京都大学高等教育研究開発推進センター 准教授)

高難易度大学・学部1年生が求める英語授業と教員像

—「異質性」の正統化と共有に向けて— ……【会場：総合館北棟 共北3B】

p.320

企画：金岡正夫（鹿児島大学）
話題提供：金岡正夫（鹿児島大学）
横山千晶（慶應義塾大学）
横山彰三（宮崎大学）
加藤千博（横浜市立大学）
指定討論：加藤千博（横浜市立大学）
司会：金岡正夫（鹿児島大学）

学生とともに授業を創ろう ……【会場：総合館北棟 共北26】

p.322

企画：木野 茂（立命館大学）・長谷川 伸（関西大学）
和賀 崇（岡山大学）・筒井洋一（京都精華大学）
話題提供：木野 茂（立命館大学）
長谷川 伸（関西大学）
和賀 崇（岡山大学）
筒井洋一（京都精華大学）
司会：木野 茂（立命館大学）

ディープ・アクティブラーニング

—反転授業とリーダーシップ教育を事例として— ……【会場：総合館北棟 共北27】

p.324

企画：松下佳代（京都大学）・森 朋子（関西大学）
話題提供：松下佳代（京都大学）
日向野幹也（立教大学）
森 朋子（関西大学）
指定討論：中西良文（三重大学）
司会：松下佳代（京都大学）・森 朋子（関西大学）

高等教育機関に本当に必要な「学生の声と協力」とは何か

—学生・教員・職員の協働による大学の質向上は実現可能か— ……【会場：総合館北棟 共北28】

p.326

企画：川上忠重（法政大学）・上野誠也（横浜国立大学）・白鳥成彦（嘉悦大学）
榊原暢久（芝浦工業大学）・高橋 和（名城大学）・曾根健吾（東洋大学）
話題提供：沖 裕貴（立命館大学）
後藤裕哉（日本大学）
杉原真晃（聖心女子大学）
加藤雄一郎（立命館大学）
指定討論：橋本 勝（富山大学）
土持ゲーリー法一（帝京大学）
司会：川上忠重（法政大学）

教員養成型 PBL 教育の展開と検討

－PBL 事例シナリオ教育を焦点に－ …………… 【会場：総合館北棟 共北31】
 _____ p.328

企 画：山田康彦（三重大学）
 話題提供：根津知佳子（三重大学）
 森脇健夫（三重大学）
 赤木和重（神戸大学）
 前原裕樹（愛知大学）
 指定討論：吉田香奈（広島大学）
 井上史子（帝京大学）
 司 会：山田康彦（三重大学）

「日本」を題材とした協働学習の仕掛け …………… 【会場：総合館北棟 共北32】
 _____ p.330

企 画：吉野 文（千葉大学）
 話題提供：和田 健（千葉大学）
 西住奏子（千葉大学）
 小林聡子（千葉大学）
 ガイタニディス ヤニス（千葉大学）
 司 会：吉野 文（千葉大学）

日本における教養教育の史的展開 …………… 【会場：総合館北棟 共北37】
 _____ p.332

企 画：児玉英明（京都三大学教養教育研究・推進機構）
 報 告 者：児玉英明（京都三大学教養教育研究・推進機構）
 橋爪孝夫（山形大学）
 指定討論：林 哲介（京都三大学教養教育研究・推進機構）
 司 会：児玉英明（京都三大学教養教育研究・推進機構）

「事件は本省の会議室ではなく、現場（授業）で起きている！」

－「守・離・破」で臨む大学教養教育難題解決「踊る」ラウンドテーブル・ワークショップー
 …………… 【会場：総合館北棟 共北38】
 _____ p.334

企 画：清水 亮（神戸学院大学）
 話題提供：上野寛子（明治学院大学）
 大嶽龍一（日本大学）
 小田隆治（山形大学）
 佐藤良明（東京大学名誉教授）
 司 会：清水 亮（神戸学院大学）

体験を社会の中に文脈化して学びの意欲につなげる

—早稲田大学「体験の言語化」科目の開発— ……………【会場：総合館北棟 共北25】

p.336

企画：岩井雪乃（早稲田大学）・兵藤智佳（早稲田大学）

話題提供：岩井雪乃（早稲田大学）

兵藤智佳（早稲田大学）

本間知佐子（早稲田大学）

和栗百恵（福岡女子大学）

河井 亨（立命館大学）

司 会：岩井雪乃（早稲田大学）

留学生と日本人学生がともに学ぶ多文化交流型授業の実践 ……………【会場：総合館北棟 共北3C】

p.338

企画：小河原義朗（北海道大学）・青木麻衣子（北海道大学）

話題提供：小河原義朗（北海道大学）

青木麻衣子（北海道大学）

鄭 惠先（北海道大学）

指定討論：徳井厚子（信州大学）

Gehertz 三隅友子（徳島大学）

司 会：小河原義朗（北海道大学）

様々な内容、目的を持った Study abroad の広がりそこから得られる学び、課題について

……………【会場：総合館北棟 共北3D】

p.340

企画：保崎則雄（早稲田大学）

話題提供：長濱 澄（早稲田大学）

土性香那実（早稲田大学）

若山修也（早稲田大学）

藤城晴佳（早稲田大学）

指定討論：保崎則雄（早稲田大学）

司 会：保崎則雄（早稲田大学）